

2008 年頃の放射線化学会

東京大学 名誉教授 (現 日本アイソトープ協会)

勝村 庸介



日本放射線化学会は 1965 年 11 月 13 日に発足した。初代の千谷 利三先生から数えて 25 代目の会長を 2007 年 10 月から 2009 年 9 月まで私が仰せつかった。この在任中の頃を思い出して記すこととする。

2005 年に放射線化学会設立 40 年を記念して、第 1 回 1958 年 11 月から第 47 回 2004 年までの討論会の要旨集を pdf 化して CD として販売した。翌年の 2006 年には丑田 公規先生 (理研, 現北里大) が中心となり「放射線化学のすすめ」が発刊された。従って、会員の連帯感が盛り上がった時期に会長を引き継いだ。しかし、会員数から見ると 1965 年に 183 名、1992-93 年頃の会員数のピーク、530 名 (賛助会員 40 名含む) を経て、私が会長を引き継いだ頃には 340 名に減少し、将来のさらなる減少が想定され、危機感を覚えた。

在任中、2 つの放射線化学の国際シンポジウムが開催された。2007 年 11 月には日本原子力研究開発機構の先端基礎研究センター主催で、ASR2007 が開催された。当時、センター長が簗野 嘉彦先生で、私が「放射線作用基礎」のグループリーダーを仰せつかっており、センターシンポジウムとして開催したものである。センターからの支援もあり、全世界から放射線物理、化学、生物の広い分野を対象に、活躍中の研究者を招待することができた。4 日間の会期で開催、発表のほか、バンケット、5 月末にビームを発生し稼働を始めた J-PARC 及び東大のピコ秒ライナックの両施設の見学を含めた会合で、特集号 The International Symposium on Charged Particle and Photon Interaction with Matter-ASR 2007 を *Radiat. Phys. Chem.*, 77, (10-12), 1119-1339 (2008) に刊行した。

もう 1 つは、APSRC-2008 である。1983 年に最初の日中放射線化学シンポジウムが開催された。1999 年

10 月に山岡 仁史教授主催で京大会館での第 8 回が開催され、ここでひとまず日中のシンポジウムを終了し、環太平洋地域のアジアの諸国を中心として再出発を提案した。これを受けて 2004 年、西安にて中国、インドと日本の 3 ヶ国で APSRC (Asia Pacific Symposium on Radiation Chemistry) を持ち回りで 2 年ごとに開催することが合意され、初回は 2006 年に上海で、2 回目として 2008 年 9 月に早稲田大学の鷺尾 方一先生を中心にして開催された。APSRC-2008 に中国から 20 名を越える研究者が自分たちの旅費で参加したことは大きな驚きであった。従来のシンポジウムでは中国からの研究者受入れに際しては、いかに安価なホテルを準備するかというのが最も大きな課題であった。これは中国の経済発展によるものであろうが、隔世の感であった。本シンポジウムを記念して APSRC-2008, The Second Asia-Pacific Symposium on Radiation Chemistry, August 29-September 1, なる特集号を *Radiat. Phys. Chem.*, 78, (12), 1019-1220 (2009) に刊行した。

この頃の話についても触れたい。fs レーザーとフォトカソードを用いたピコ秒単パルスライナックの稼働では、フォトカソードとして Cu, Mg, Cs₂Te, Na₂K₂Sb などが開発されてきたが、Cs₂Te が定番に落ち着いたようである。イオンビーム放射線化学分野では TIARA でのイオンビームパルスラジオリシスが本格稼働を始めた。また、グラフト重合の活用で、様々な商品が上市された。原研、環境浄化研究所の須郷 高信さんのグループの活躍がある。また、海水ウラン回収についても海洋での実用試験によるデータが得られるようになったのも印象に残っている。さらに、放射線利用の経済効果の調査で、エネルギー利用と放射線利用はほぼ同じ規模であり、放射線利用の重要性が明らかにされた。

JSRC around 2008

Yosuke KATSUMURA (*Japan Radioisotope Association*),

〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

TEL: 03-5395-8021, FAX: 03-5395-8051,

E-mail: katsumura@jrias.or.jp